

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 18 日

事務事業名		きらり健康プランの進行管理事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	010201000322	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助		040401	
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進				主要事業		所属課	健康推進課	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				市長マニフェスト				
	施策名	02 健康づくりの推進				未来PJ事業		グループ	健康づくり	
	手段名	01 ①健康づくりの推進				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	04	01	02	02	00	保健事業			
法令根拠							期間限定複数年 (平成26年度～平成30年度)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民の健康増進に関する施策についてH21年3月に健康増進計画を策定した。H25年度は中間見直し時期で健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画の3計画を一体化させ新たにきらり健康プランを策定し、5年毎に見直しを行い、各計画ごとに目標を設定し、市民の各年齢層に応じた総合的な健康づくり図っていくものである。	①策定作業を行う年度は基礎データ収集とアンケートの実施→策定委員の委嘱→策定委員会の開催(3回)→計画書(案)の作成→パブリックコメントの実施→議会への報告 ②年度ごとの計画と進捗状況の確認、各目標ごとのアンケート調査・集計

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
各計画ごとに目標を設定し、5年毎に見直しを行う。また、年度ごとの計画と進捗状況の確認、各目標ごとのアンケート調査・集計する。	策定委員数	人	0.00	0.00	20.00	20.00	0.00
	策定委員会開催回数	回	0.00	0.00	2.00	2.00	0.00
	計画進行管理業務時間数	時間	150.00	150.00	300.00	300.00	150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民	市民の人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
	アンケートの回答市民数	人	1,115.00	812.00	900.00	900.00	900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民が生活習慣病への関心と理解を深め、自からの健康状態を自覚し、生涯にわたって健康保持・増進に努められるようになる。	健康を心がける市民の割合	人	92.40	92.60	93.00	93.00	93.00
	特定保健指導対象者数	人	495.00	491.00	485.00	480.00	475.00
	市民健康講座参加者数	人	210.00	253.00	200.00	200.00	200.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	期間限定 総投入量
			県支出金	千円	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	
			一般財源	千円	0	0	3,056	
			事業費計(A)	千円	0	0	3,056	
	人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	8.00人		
	述べ業務時間	時間	49.00	100.00	300.00			
	人件費計(B)	千円	143	293	878			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	143	293	3,934			

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
				01 報酬	72	
				11 需用費	3	
				13 委託料	2,981	
			合計	0	合計	3,056

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	10201000322	所属課	健康推進課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は中間見直しを実施し、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。平成28年4月改正自殺対策基本法が施行、翌29年7月には自殺総合対策大綱が閣議決定された。自殺対策基本法では、市町村の自殺対策計画策定が義務付けられた。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	3計画をそれぞれ目標値をあげて事業実施している。特に市民健康講座や健康相談等、知識の普及啓発やがん検診受診状況については、無料クーポン等による受診勧奨をした。特に食育推進計画や歯科保健計画の推進は他関係化との連携が必要であり、具体的に実施を進めていく必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画の施策に「健康づくりの推進」が設定されており、健康づくり全般の方向性や目標を定めるきらり健康プランを策定及び計画に沿った事業を実施することは、政策体系と結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 早期から生活習慣病予防し、健康の保持増進を図ることで医療費の軽減につながる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 健康維持・増進の実現を目指した計画であり、市民アンケートで「日頃、自分の健康のために心がけている」と答える市民の割合は、増加傾向にあるが、更なる増加を推進したい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画の3計画を一体化させ、具体的な健康づくり活動目標を示している計画なので統廃合はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 計画の進行管理事業であり、今年度においては予算化していない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民誰もがライフスタイルに合わせた健康づくりができる計画である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	次年度予算及び事業計画時に事業の振り返りを実施し方向性を検討している。計画期間の最終年度(H30年度)を迎えるにあたって、計画の進捗状況を再確認し、策定業務の進め方や策定期等、今後の方向性について検討した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
進捗管理の精度を上げるためには、各指標値を継続的に把握する必要がある。現在は市民アンケートで指標の一部を把握するにとどまっており、その他の指標についてどのように把握していくか検討する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>